



特 243

891 日  
新聞  
紙上  
發表



\* 0001634000 \*



0001634-000

特 243-891

新東洋主義論

伊東阪二・著

新東洋社

昭和9

AAC

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法  
第67条の規定に基づき、平成12年3月2日  
付で文化庁長官の裁定を受け使用するものです。



特243  
891

## 北の京の城にわれ死なむ

一人の英雄！ 日華五億の大海原より出でよ！

僕の名に就て (著者)

日本では松尾正直、伊東阪二の二つの名あり。  
民國では黄億朝、棟漢宜の二つの名を用ひてゐる。僕一人で、四つの名があるわけである。どれも必要で、自然に出来た名で、理由はない。  
伊東阪二も、黄億朝も同一人であるが、今後は主として、黄億朝として新しく生きたい。

黄帝紀元四六三二年四月

黄億朝

實行の理論を説く 新東洋主義論 (生産國家主義)

(國民國家主義)

幸福の前に泣く東洋の爲めに

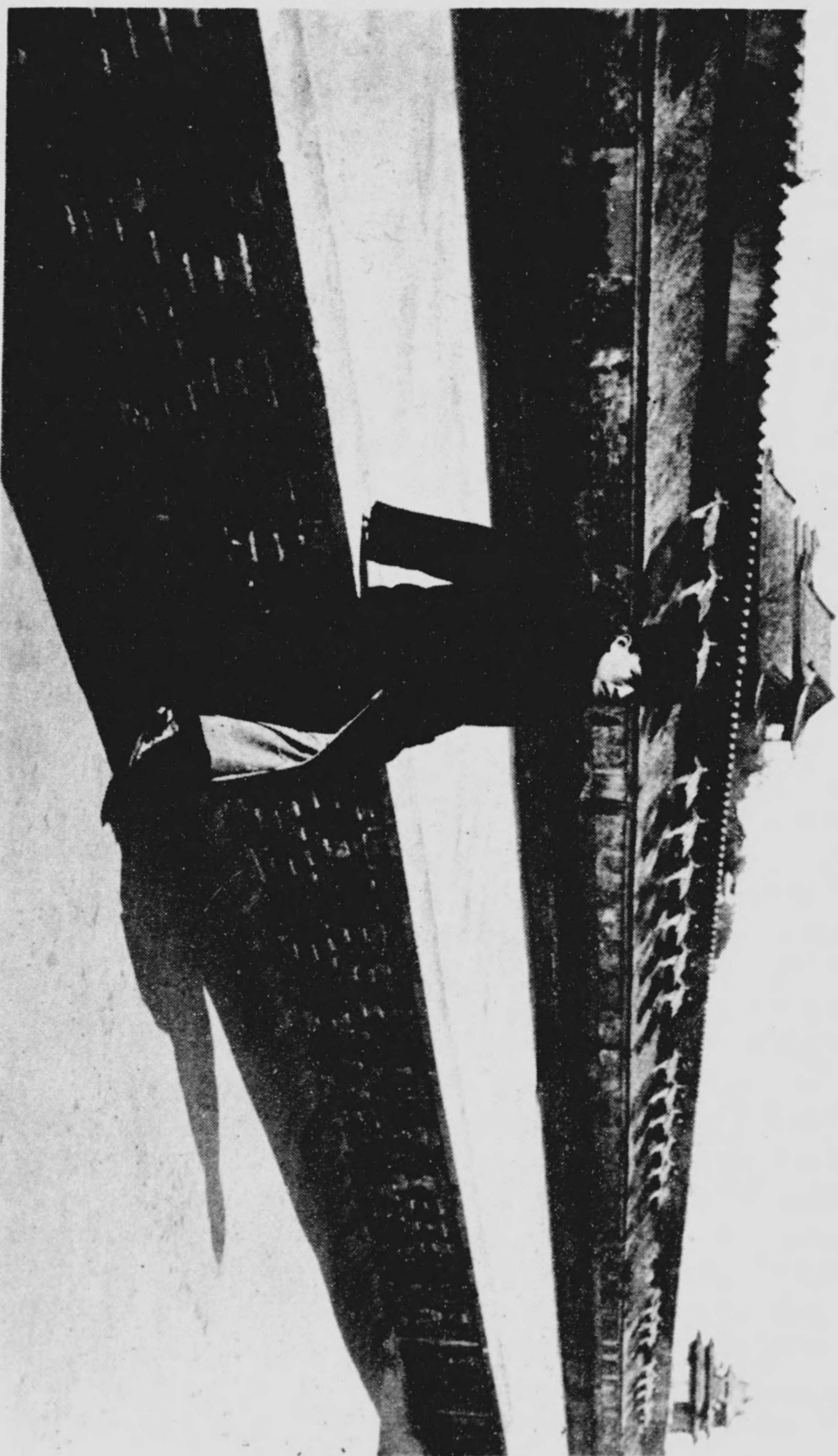


北の京の日本公使館のハニ

洋服は東亞大變の局の焦點に立ちて腕を揮ふ柴山武官



北京の日の光



# 新東洋主義論

北京にて 伊東 阪二

神性東洋

赤いロシヤ主義と、我が新東洋主義とが、東亞大陸で戦ふ。  
新東洋主義とは？

我等は、東洋の再生を確信してゐる。

西洋は浅かつた。先づ西洋の、變質資本主義の波で洗つた、現地球の光景が、總てを説明する。





過渡時代資本に疲れた世界、瀕死の萬國——ダイヤに、パン粉を塗つたやうな現地球を、イトーハンニは嫌ふ。

太平洋よりも深い東洋文明——

未だ一切は、神祕の霧の彼方にある無限の東洋よ。

ほのかなる東洋の青春。

動物も植物も、世界に勝る、美しい神性東洋。

然し、西洋にも少量の良いものがある、洋服は支那服と共に面白い。

それは自由に使つて、東洋に生きよ！

## 2 化物退治

東半球は、世界の胸部である。

早く東洋の運命を、指示した此のハンニである。

曾て、全世界注目の焦點となる、我が大陸指導論。

永遠の青年ハンニは、東洋の青春の爲めに、戦はねばならぬ。幸福を前にして泣く東洋の爲めに——

待望の東洋の花の咲く日。西洋に惱まされ、悲しめる日華五億の、悲しみを取消すために、東洋に出現した悲しみの敵ハンニ。

新しき人類の生活様式は、東亞大陸に於てこそ、創建されねばならぬ。

大切な夢を宿す東亞大陸よ！ 海國性日本人と、大陸性民國人の、美しい

友情の花が咲き、日華が眞に一つになつて立つたら——

東洋の兄弟、日華！

「生活と資本」を、眞に認識するに至らずして、チカチカと神経をトガラ



した、病的マルクスの當然の失敗。  
 顔の如く違ふ性格は、國家及人間の不思議である。  
 性格の違ふ、國家及び萬億の男女に、一律一色の生活を強ひる無法共産。  
 我等は東洋の、夜の空にさまよへる、レニンの幽霊を討たねばならぬ。  
 化物退治に、出發したハンニ。  
 人類の敵レニンと、悲しみの敵ハンニの決戦だ。  
 詩もなければ、ロマンスもないロシヤ!

### 3 幸福の宿火

わが東洋は、暫く西洋と別れやう。そして労働者が、労働を樂しむことの  
 出来るまで、東洋文明を物質的に引上げる。資本が、人生を樂しくする迄

資本を進化せしめる。

食物及衣服資料が餘つて困り、國民の大多數が、仕事と衣食の皆無に困る  
 イヤな國よ。「貧乏と借金」の字は、インキ消して消すのだ。  
 貨幣價値を破らぬ限り、紙幣を印刷すべし。衣食品と同様に、紙幣は、生  
 活の必需品であるのに不足だ。

一萬の大衆に、十枚のピラでは行渡らぬ。肉體に精神が宿り、物質に幸福  
 が宿るのだ。藝術も生れるのだ。宗教も香るのだ。人間の靈性が高まるの  
 だ。戀愛も輝くのだ。自然も祝し得るのだ。永遠の人生の歌があるのだ。  
 その何一つもない現代と云ふ混沌よ! ハンニは思ふ。

五億の人の住む所、五億人の職業があり、必要に應じて、行渡る物質があ  
 る——一人の過勞、一人の失業の因となる。然も救へぬ、既成國。嘘の不



幸だ。

焚かうよ、幸福の宿火——

#### 4 過勞は犯罪なり

愛する東洋の災禍は、對外貿易にあるのだ。貿易とは、金で物をウリカイ  
すること、思ふから間違ふ。

一年に二十億ウリ、二十一億カイとすれば、殆んど全部、物々交換である。  
一億の入超も翌年に廻して、同じ物々交換に算入される。物々交換は、人  
間が、無意識に物資を産出した時代にこそ、必要であつた。科學の意識の  
發達した今日、總ゆる物資は、凡そどの國にも多量に出来る。科學は人間  
の仕事を手傳ひ、風土を征服した。ハンニは、思想と生活に於て、國民及

國家の性格を認めるが、科學産業に於て、風土及國家の個性を、殆んど認  
めない。問題は、印度の麻ぐらゐのものだが、これとて英國の迫害政治の  
副作用が産むのだ。解決點はある。

各國の貿易は、品質よりも値段のみの競争である。通貨を目標に、物資の  
値段の低下を競ふ時、必然、その物資を作る人間の、價值低下となる。  
そこで貨幣價值を引下げる。爲替競争だ。

物を下げて、人を下げて、金を下げて、標準と相手を失ひ、生産配給の大  
勢に抗し、路を斷ち、過勞して人々の職業を犯し、未だに物々交換の愚に  
氣の付かぬ、哀れむ可き世界人類よ、悲しき世界よ。

#### 5 食はず着ざる人生



衣食住に要する物質を、全部他國から給されねばならぬやうな、國家および國民は、人格獨立なく、生存の意義を失つてゐるのである。生活に要するもの一切を他に仰いで、尙人間が生きられる位なら、神は人間に衣食住の手續を課せなかつたであらう。食はず、着ず、家もなくして人間が生きてゐられたら、どれくらゐ人生もタイクツなものであらう。

人間の本能、生産の喜び、生産に出發したるすこやかなる資本の喜び！

名譽の生産資本主義！ 形式ブルジョアの子の、不愉快な顔、生産に根ざ

さぬ偽れる生命よ。西洋貿易無用、貿易をやめたなら、東洋の物價を、適

當な所に置けるのだ。入超の恐怖がないから——自國の産業は、正しく更

生ずる。貿易の大宗たる綿絲生絲の處置は。棉を買はず、綿絲を賣らず、

東洋で使ふ綿絲の代りは人絹にする。生絲は生産自國で豊かに消費する。

大抵の物資は東洋で出来る。

### 6 藝術貿易論

如何なる場合にも例外はある。極めて少量の藝術、若しくは思想・趣味・醫藥等に關して、許可制の下に、年總額一億位のウリカイを西洋と爲すに止める。

對外貿易廢止により、産業の向上停止を憂ふるものよ、進歩を、競争の裡からのみ、發見しやうとする、難苦悲慘を知るべきである。ラグビーで負傷をして死ぬ、このスポーツの極端が、今日の貿易の、東洋を傷つけてゐる事實である。單に列國の、科學の進歩を、怠らず注意して居れば足る。然も次の科學の目あては、人間の身體の改革にあるのではないか。



一〇  
災害貿易より、東洋を救はねばならぬ。醜い苦しい無智な物々交換をして、何を人々は得てゐるのか。結局輸入超過である。輸出超過となつても、得るものは、木の葉の如き不換紙幣である。若し國際貸借を云々する者があるならば、我等は、戦争遠からじと云ひたい。戦争の果ての國際收支を、ハンニは論じたくない。

## 7 生産の幸福

この事實を見よ。物々交換の内容を見よ。同一商品を賣買したり、四角のものを買つて、三角にして賣つたり、全然無駄な物を買つて、賣つたりして居るに過ぎぬ、めんだうな貿易をやめよ。

東洋に要する、大量物資生産の、興味と幸福を、西洋人より奪ひ返せ。東洋人よ！  
呪はれたる貿易がなければ——始めて、通貨を自由に、適當に發行して、全東洋が楽しく遊べるのである。

## 8 通貨は材木なり

衣食用品を作り過ぎて、米と絲を、倉庫に一パイ積み上げて、國民の半分が食ふものも着るものもないやうな、滑稽なる悲劇より遁れよ。  
金は印刷物である。通貨の原料は、滿洲國の材木である——無限である。適當に全東洋人に配給すべきである。  
金さへあれば、食物も着物も自由に買へる。その金も物資も、東洋人が作



るのである。

東洋人の大部分が、五時間位の労働を樂しみ、適當なる賃銀を得て、失業者をなくし、過勞者をなくするには、おろかなる貿易を廢せばよいのである。蟻でさへ、同じ物なら手近の物を喰べる。遠く貨物を船で運ぶのは、時代遅れと知れ。光榮の新東洋主義！

## 9 生産資本主義

豊麗なる東洋よ！ 民國よ！ 最も古くして、總てが壞れた中華は、處女地の如く新しき中華である。どんな生活でも、どんな思想でも育つのである。マルクスでもない。ファツシヨでもない。帝國主義でもない。あわたしき植民地でもない。新しい國。そして萬物の無限の生産！ 適當の通貨を

傳票とする物資の配給！ 消費！ 樂しき人生！ この希望が新東洋主義である。病める資本、その反動共産、苦痛と惡夢の二つを超えて、ハンニの生産資本主義が發生した。新東洋主義の樂しき朝の光がさす。北京にて、紫の新東洋主義を説く、青年ハンニ！

## 10 一億日本の生命硬化？

強いばかりが、日本の價値ではない。と云ふことに、最も早く日本自ら目醒めねばならぬ。一億日本の生命硬化？ こゝに、元始的な位、生命に満ちた四億民國を交配することが、神の眞意であり、工作慾の極みであるのではないかと、氣付いたハンニ。

日本人同志では、近親結婚のやうな○○○○○。日本よ。その餘りに、



果敢の表情を、民國の顔を見てチト和らげよ。いはゆる三六年を、悠々と  
して迎へよ。

大戦で溶かし過ぎたドイツの血をヒトラが固めてゐる。海國的に固まり過  
ぎる日本の血をハンニは溶かしたい。全東洋に！ 新東洋よ新生命よ！  
恐ろしき生命の凡化と磨滅。日本人よ！ 中華の救ひは、日本である如く  
日本の救ひは中華である。日本にとり、中華の國土の物資は要るが、民國  
人そのものは、要らぬと思つたら大間違ひ！ 夢ましい、自然兒の中華を  
理解する日本人は全日本で二三人か？

## 11 無戦の世界改正

東洋の夢、中華人は、愛すべき國民である。大民族の未成品である。中華

人よ！

民國はまた、日本を誤解してゐる。近き最後の世界戦で、若し日本が東洋  
以外の國と戦つて敗れたら、全東洋は暗黒である。

遙かに打ち歎く、彼女インドの姿よ。

わが八億の、大海原の波濤よ！ 不吉よ！

西洋人に、正しき人類愛なし。

それなら日本が勝つたら、懐しの民國は新しく榮える。次に印度の復活。  
そして西洋も新生涯に入る。西洋人よ！

「不偏のハンニ。——使命のハンニ。——」と、汝のニューヨークタイムス  
が書いた。その通り、世界は、我等の新東洋主義により、始めて残忍なる  
國家階級の獄から解放されるのだ。



あやまれる、一色思想の共産襲はずとも、わが東洋の運命を知らぬ、民國インテリ要人は續かない。明言する。ハンニの主戦論！  
然し、戦争なして、世界を改正したい。

### 12 國民國家主義

國民の青春と共に國家の青春を守れ。ハンニは、自國の赤き血の災害にも懲りず民國に放火したロシヤを憎む。  
レニンの幽靈を拜する、彼等を憐れむ。  
ロシヤ熊の急所を知るは、ハンニひとり、突け、月の輪を突け。  
暴慢なる西洋資本國家の虎口より中華を助けよ。

全東洋を是認せよ。

理智に冒された日本。生命硬化の蔭より日本を救へ。

島國性、否な海國性に大陸性を注入せよ。

新しき東洋を作れ。

日本だけではユトリがない、足も投げ出せぬ感じ。人生は、そんなものではない。個人と東洋、及び世界の幸福を目ざして、前進するハンニの國民國家主義！

紫の太陽輝く、美しき新東洋主義の旗。過ぎゆく我等の次の生命の飛躍と不滅もまた、この旗の翻る下にこそ約せらる。

○未開の遺物、西洋貿易の全廢（やすやすと出来る、生産資本改革）



○正しき國民に、通貨の適當なる配給（金錢もまた、生産物として必需品）

○國民の食物、衣服、住居の満足は、國家の常識である（昔も今も東洋は精神の寶庫なり）

二二年冬記

人類の思ひ盡したる

國を作るために民國は

五千年前より選ばれたり

（昭和九年一月十五日東朝・大朝掲載）

我想要在北京城裡死！

一個英雄！ 由中日五萬々的大海裡出現罷！

談實行的理論

新東亞主義論

（生産資本主義）  
（國民國家主義）

於北京 棟 漢 宜 發表

1 神性的東亞

赤色的俄國主義和我的新東亞主義・將要在中國大陸上打起戰來了！ 新東



亞主義是什麼？我們相信東亞一定會起死回生！西洋的一切是淺薄的。試看將西洋變質資本主義的波浪洗掉的現在的地球上的各種樣式。是說明一切的。被過渡時代的資本主義已經疲倦了的世界。瀕死裡頭的萬國——好像·鑽石塗着麵粉一樣的地球·這漢宜是不高興極了！比較太平洋還深得很的東亞的文明——現在還在烟霧模糊神秘無限的東亞！朦朧亮的東亞的青春·連動植物也在世界上佔優美麗的神秘的東亞·但是在西洋也有一點的好東西·西衣和中衣都各有所長的妙·像那樣的就可以隨便去使用·總要·活在東亞裡吧！

## 2 怪物的擊滅

東半球是全世界的胸部·這老早既指示了東亞的運命是誰呢？這就是這個

漢宜！曾引起了全世界的註目的焦點·就是我的大陸指導論·永遠的青年漢宜是爲東亞的青春不能不戰鬥的·把幸福在眼前裡·爲東亞而哭泣！

探頭待望東亞美麗的花開的日子·要消滅被西洋惱煩了的這個五萬々の痛苦·在東亞出現的這個悲苦的敵人漢宜·新人們的生活樣式·一定須在中國大陸上創造才行的·保有這重要夢的中國大陸啊！海國性的日本人和大陸性的中國人的美麗的友情的花開起來·中日兩國真正作爲一體的時候·——才可以說得起是東亞的弟兄中日吧！

不真正詳細明白清楚「生活和資本」就刺戟了神經的馬克斯是當然會失敗·人們的性格好像臉面似的全都不一樣·這是國家和人們不可思議的·對於這樣·性格不同的國家和億萬的男女們·勉強要把他們的生活做爲一律一樣的無法亂作的共產·我們須要討伐在東亞的天空裡徘徊的這列寧的鬼怪才行·



漢宜是爲除去這個鬼怪出發來的。爲人們仇敵的列寧和悲苦的敵人的漢宜要決戰的！沒有詩也沒有艷聞的俄國！

四

### 3 幸福的宿火

我們的東亞·暫時和西洋訣別吧！把東亞的文明和物質一樣提高。更把資本制度進化到人們能夠享樂爲限。吃食和衣服的材料困於過多。但是·一面大多數的民衆都困得沒有衣食。像這樣不高興的國家啊！「貧窮與借款」的字兒·就可以用墨水塗擦去啦！如果不能完全打破貨幣的價值的時候·只好把紙幣印刷起來就行啦。鈔票是和衣食一樣·雖是人們生活上必須要的東西·但是·都不足用啦。好像對一萬的民衆單々給十張的傳單·是不能普及的吧。

肉軀裡宿有精神·物質裡宿有幸福的時候·藝術也會生·宗教也會香·人們的靈性也會提高·戀愛也會輝煌·自然也會祝福的。這才真有人生永遠的歌詞吧。

噯啾!! 漢宜想一想呢！沒有一樣東西的當今世界混沌的現象啊！

五萬々人們住的地方·是應有五萬々人的工作·在必要的範圍內·應該須要普及物質的。一個人的過勞·就是一個人失業的原因。然而不能救濟的既成國家·像這樣虛妄的不幸·燒去吧！幸福的宿火啊！

### 4 過勞是犯罪

親愛的東亞的災禍是在對外貿易·想貿易就是用金錢買賣的交易·那就是不對啦。假定一年間買二十萬々·賣二十一萬々·這不過是物々の交換。把一

五



萬々の入超。就算下一年去。也是一樣的物々交換。物々の交換是人們無意識裡所生產出來的時代才有必要的。但是。在科學意識昌明的現在。一切的物質。無論那一國。也生產得不少。科學是幫助人們的工作。征服自然的。漢宜在于思想和生活上。雖是認定國民和國家的性格。但是。在科學產業上看起來。自然與國家的個性。大概是不能認定的。這好像印度的麻苧問題就是。這算是英國的一種迫害政治作用所產生的。也有能夠解決的辦法。現今各國的貿易。不是論其貨的品質。單是競爭貨的價錢。把貨幣做目標。以低下物資價錢而競爭的時候。必定低下做這些物資的人們的價值。那就自然會把貨幣的價值低下來。這才發生匯兌的競爭。低下了貨價。低下了工賃。低下了匯兌。像這樣就會失却低下的標準和對手。並與生產配給的大勢抗爭。斷却前程。遂至過勞的結果還要侵犯人們的職業。到現在都還不知道物物交

換的愚蠢。像這樣可憐的世界的人們啊！悲慘的世界啊！

## 5 不食不穿的人生

衣食住等必須要的物質。都要外國的供給才行的國家和國民。是沒有獨立的人格。像這樣完全是失去了生存的意義。

如果把生活須要的東西。仰望他人的供給才能夠生存的時候呢？神也是不會以衣食住的麻煩來課人們啦。不食。不穿。也無家可住人們都會生長的時候呢？那麼。人們不知道什麼無聊？人們的本能。生產的高興。由生產出發而舒服的資本的喜歡！名譽的生產資本主義！形式的資本家們的不舒服的面孔。沒有根據的生產的虛偽生命啊。西洋貿易是無用的。倘能夠休息了這種貿易時？東西的物價。就能夠相當的提高了。若是沒有入超的恐



惶。那嗎。自己國內的生產就會更生起來吧。那時候貿易的大宗的棉絲。生絲的處置要什麼樣呢？不給他們買棉。不賣給他們棉絲。我們要用的棉絲。就把人造絹代用就算了。生絲就在生產的本國裡頭盡量消費吧了。大概的物資。我們東亞都能夠生產的。

## 6 藝術貿易論

不論甚麼時候也有例外的。限以極少數的藝術。或者思想。趣味。醫藥等。在以核准下裡。限定每年一萬々の範圍內給西洋買賣交易。因為對外貿易廢止。就憂慮到產業向上的停止者們啊！爾們是單認定進步是由競爭裡頭才能發見。這我們可以明白艱難悲慘極了。好像玩牛鬪球比賽。負傷至死一樣。運動選手化的極端。這就是當今的貿易。

傷害了東亞的真像啦。我們只要注意列國科學的進步就行了。然而將來的科學的着眼點。是不是人們的身體的改革嗎？

從災害貿易裡非救出東亞不可。像那樣醜陋和苦痛。極其無智的物々交換裡頭。人們究竟得了什麼呢？總之。不過輸入的超過吧。假使輸出超過也不過是得一片樹葉樣似的。不能兌換的鈔票就是了。若有討論國際借款問題的人們啊！我們想要說。「不久就會發生打仗吧！」這一句話了。  
漢宜是不高興討論戰後。國際間的收拾問題啊。

## 7 生產的幸福

看々這個事實吧！看々物々交換的內容吧。像買賣同一樣的貨物。好像買四角型的東西。改作三角型來賣等々。不過完全都是沒有用的東西的買賣。



廢却吧！ 這樣麻煩的貿易。

我們東亞所須要的大宗的物資。生產的興趣和幸福。把那個西洋人手裡奪回來吧！

如果是沒有這個令人詛罵的貿易。才能夠自由裡適宜發行通貨。使全東亞的人們享樂遊玩。

## 8 通貨是木材

現在衣食的日用品。生產得過多。米和絲等藏得滿倉庫。而且國民的大半數。吃的穿的東西都沒有。像這樣悲慘滑稽裡頭。離開一步去吧！

錢是一種的印刷品。通貨的原料是滿洲國的木材。無限際的。應該要相當配給全東亞的人們的！

如果有錢呢？ 食物。衣服都自由能夠買的。像那樣方便的錢和物質。東亞的人們都會造啦！ 想要東亞大多數的人們。都能夠享樂五點鐘的勞動。得相當的工錢。使到沒有失業者們。也沒有過勞者們的時候。廢去愚劣的貿易就夠了。

譬如。就螞蟻說。若是吃食一樣的東西呢？ 也曉得由傍邊先吃去。所以。把遠隔的東西用船運來用的。這分是遲了時代的嗎？ 光榮的新東亞主義啊！

## 9 生產資本主義

豐富的。美麗的東亞！ 中華民國！

歷史最舊的中國。現在一切都破壞了！ 這好像處女地一樣新鮮漂亮的。什麼生活和什麼思想。都可以培植起來養育的。這也不是馬克斯主義。也不



是法西斯蒂主義。也不是帝國主義。也不是悽涼的殖民地。真是新的國家。而且無限的萬物的生產。用適宜的通貨爲傳票。使物資能夠自由配給。消費。至給人生的享樂。這個希望就是新東亞主義。

病癆了的資本。和那個反動的共產。越過這兩個的苦痛和惡夢。出生長成的就是漢宜的生產資本主義。新東亞主義的美滿舒服的朝光輝耀了！

在北京宣言紫色的新東亞主義！

青春的漢宜！

## 10 一萬々日本人的生命的硬化？

不限于說強。就是日本的價值。對這點日本不可不快々覺醒起來不行的。

一萬々日本人的生命的硬化？ 當在這時候配給還正在元始的四萬々の中國

人裡頭。這敢不是神的真意。妙極的工作慾的表現嗎？ 漢宜是這樣想啊！

像日本人的近親結婚的……。日本人啊！ 像那樣過于果敢的表情。看

々中國人的顏兒。就可以柔和些啊！ 人們所謂一九三六年。也可以悠々來迎接他吧。

在大戰時溶消過渡的德國人的血精。希多拉正在那裡凝結。過于凝結在海國根性裡頭的日本人的血精啊！ 漢宜想要溶消。貢獻全東亞！

所謂新東亞化！ 新生命化啦！

害怕的生命的凡化和磨滅了的日本人啊！ 像救中國的就日本一樣。救日本的就是中國啊。在與日本呢？ 中國々土的物資雖要須要。但是中國的人是不要的。這樣的想頭是不對啊。

還像在夢床中的自然兒一樣的中國。那個人能夠理解他呢？ 全日本國內都



怕尋不出二三個人吧！

一四

## 11 不用戰的世界改革

東亞的夢！中國人是很可愛的國民。是還沒有造成的大民族吧！  
中國人啊！

中國還是有誤解日本。不久的最後的世界大戰的時候。日本如果是被東亞以外的國家打敗呢？全東亞就會黑暗起來啊。

在遙遠悲痛的女性印度的嬌姿啊！

我們八萬々的大海洋的波濤！不吉祥的兆頭！

西洋人是沒有真正的人類愛！

那嗎。如果日本是打勝戰呢？那中國一定會榮昌起來的。然後印度也會復

活起來。而且西洋人也可以進入新生涯了。西洋人啊！

你們的紐育新報道「不偏的漢宜！使命的漢宜！」是。不錯的。世界是靠

我們的新東亞主義。才能夠解放殘忍的國家階級的獄門啊！

雖是紅一色的共產主義不會襲來？但我們東亞的運命也是不可意料的。

中國智識階級的要人們。是不能繼續得長久的。這可以不客氣告訴你們啦！  
漢宜的主戰論！

但是很希望不用戰鬥。而改革世界！

## 12 國民國家主義

保守吧！國民的青春和國家的青春！

漢宜很厭惡那個在自己國裡頭。受了赤血的災害。還不曉得覺醒。竟敢在中

一五



國放火殺人的俄羅斯！可憐啊！崇拜列寧魂魄的他們。能夠明白俄國的驚脚。只有漢宜一個人。衝進去！衝進月亮裡面去。從橫暴的西洋資本國家的虎口裡頭救出中國來吧！

認識清楚吧！東亞的全貌！

被理智濛昧的日本。從生命硬化的營中。救出日本來吧！

把大陸性注入島國性。否則海國性裡吧！

創造出新東亞來吧！

單獨日本一國是沒有一點寬容性。好像手足也不能伸長一樣。人生斷不是那樣的。要從個人。東亞和世界的幸福為目標前進才行。這就是漢宜的國民國家主義。

我們在紫色太陽的光輝。美麗的新東亞主義旗下裡飛躍不滅的我們未來的生

命。也是當在這旗翻翼下裡才能誓約吧！

×

×

×

×

全廢未開化的遺物。西洋式的貿易。

（很容易可以促其實現的生產資本改革）

對正當的國民。適當的通貨的配給。

（金錢不過是一種的生產物。而且是必要的東西）

國民的衣食住等的滿足享受。是國家常識。

（不限于往昔。現在。東亞是精神的寶庫）



爲造就人類理想中的國家！  
在五千年前被選定的是中國。

甲山にて

さらば日本よ

ハ  
ン  
ニ

冬、日本に歸りて、春また去り行くに臨み、書き残して置きたい、死の望見を！

阪神國道のマルイ寒月を、  
心でおどろき乍ら、  
十一日夜！

さらくと氷のやうな松風が鳴つて、  
も居らず、ひろい邸内に客は僕一人！  
この夜に嬉しい「月の間」に通さ



れた。

美しく、怖いやうな月夜である。遙か山の裾に、不知火のやうに、瞬いて、龍宮のかゞり火のやうに散らばつて、運命の瞳に似た、綺麗な燈火よ。星よ、水聲よ。シーンと頭を、締めつけてくる強烈な液體のやうな、そして神のやうな空氣、女中が靜に去つたあとの、懐しい絶對の孤獨を、われ乍らいとし程の落付いた感覺で楽しむ。

つめたい鐵の腕時計の微かな音ばかり、明るい室内の電燈の、光の呼吸も聽えるかと思はれる沈靜の夜と自分である。自分がそこらあたりの松の葉の、一つになつて仕舞つたかと思はれるばかり、自然を抱き締めて、いつまでも、いつまでも、人でなく自然の一部になつた儘の僕が見えるのだつた。山上の冬の、光と深い夜空の獨占である。何も持たない、孤獨の僕の大きい

なる所有は、實にこの大いなる自然である。孤獨であるとき々寂しいが、寂しいのは三日目に一時間位づゝだ。餘りに冷光的なわが生活を見て、僕のことを「月世界の大使」と呼んだ人があつた。高貴な自然よ、僕ひとりて喜ぶには、出來すぎた自然である。でも、この美しい夜を、この自然の美術を、文學的感傷でなく、眞に手を携へて見る一人の友すらない我が身である。無いのが本當である。ある筈もなければあつたら困るとも思ふ。けれども自然をすら一しよに見ることの出来る友もないと云ふことは、寂しい。いつもの僕の喜びの孤獨寂寥ではない。死の前にも悲しき寂しさである。東京で〇〇〇〇の、心の通ふ友人と語つた前夜の別離の宴が思ひ出される。その友でも自然はわからない。魂の籠つた、生物のやうな鋭い空氣が、座して居る僕の顔の前や手の傍は



らを通過する。電熱あり、火鉢の鐵瓶に熱湯あり、あついお茶を吹いて呑み乍ら、冷めたい鐵霜のやうな僕のひとりの夜である。夢のやうに、曇りなく磨かれたガラス、支那繪の屏風、雪白の夜具、一足廊下へ出ても光つてゐる、いつか友達が、「はゞかりの間」と稱した、實に清潔な便所、天然の美に於て、人の世の工作に於て、日本一の家と僕はいつも云つてゐるのです。

夜は肅々と進んで、明けて、九年一月一日です。庭で、羽根の雪白な、元氣な二羽の鶴が、香んばしい聲で啼く。紫の太陽が、燦爛と昇る。

### 己が心の優暗に泣く

朝になつてから、すこし寝て、なつかしの支那の夢を見た。枕許の繪のためかも知れない。人々の喜ぶ正月、けれども僕は一枚の年頭状も出さぬ、いつもの晴れた朝である。死の元旦です。山を散歩して、庭でブランコをして、鶴の餌のどぜうを哀れんで、光る内海と松葉を見て、暫く歌を歌つてゐた。自分で作つた「北京の城」の歌です。僕は北平と云ふ文字を用ひてゐない。

僕の好きな、庭内の高い「オキナ」橋の上に立つて、しんみりと樹々の姿を見入る。我が月の間の窓の下に、枇杷の花が微かに残つてゐるのに氣付いた。美人の多い日本に若き日を生きて、一度の戀もせずに過ぎゆく、ハンニの青春のやうに、あるかなきかの目立たない冬の枇杷の花よ——ことしこの花が黄金色に實る頃、僕は大陸で死んでゐるかも知れないと思つて、



東洋の運命を思ふ、己が心の優暗に泣くのだつた。東洋よ！ 愛の上に――  
―思ひを翻して、また遠く海を展望する。どんな時でも、海見れば心  
和らぐ僕の癖です。

六

無限の眼界である。阪神地方とは認め難い、豪放な自然である。  
冬なほ青い山々と、彼方の都會の横顔と、その先に、河のやうに流るる海  
の色と、神に謝したい自然の美です。

自然を深く見ることだけで満足して、今日まで家もなく、一直線に生きた  
僕だつた。生涯の最後の日まで、自然以外の何ものも己がために求めざる  
冒険家ハンニでありたく思ふ。僕はつとめて、自分が安定しないやうにし  
てゐる。大業は安定したものでは出来ぬ。

山と水と四季の花と、空と月と雨と、自然の魂を、みんな自分のものにし

て、人を招き美味を配する、この山莊の主人の高揚たる生活よ！ こゝを  
僕が始めて知つたのは、昭和六年夏の雨の夜だつた。

八年初秋は、大陸の麗人司令官金壁輝氏の一行と、こゝに来て食事した。  
つづいて僕は、滿洲國の新京、奉天、吉林、チチハルの四市長をこゝに招  
いた。その他友人と、また時として自分一人で、來ること多きこの家であ  
る。愛惜措かざる山の風よ。頭のいゝ〇〇〇〇等と東洋の行く末を語るこ  
とも多かつた思ひ出の家。  
庭内は一面の櫻だ。若し生きてゐたら、眞に強い男になつて、陽春、もう  
一度來たいと思ふ、こゝに――

### 神の弱點？ ハンニの使命



一月二日、ハレ。三日もハレ。

毎日晴れた甲山に遊びに行く、犬のやうに僕は行く。

口が乾くと、岩清水の水を喰べて、また歩くのです。美しい岩と木の山が多い。新鮮な杉林の空気が、残った木の實、草の實の寒き色香。散歩から歸つて、玄關横に、二つ咲く椿の花を見て嬉しかった。大陸に流すハンニの血の花！

夜毎の白金の月、潮騒のやうな松風、水の豊富なわが宿の、幸福の新春だつた。三日間雑煮も美味かつた。

去年の我が思ひ出——國民新聞社長を辭し、大陸に於ける、活動の八年。自ら創造したる日本國民主義の宣布と滿洲國問題が、僕の新聞雜誌經營の眼目であつた。ためによく演説もした。僕の理想は果たされて來てゐるの

です。

ハンニの新しい仕事は、新東洋主義である。僕の昭和七年が滿洲國問題で暮れた如く、八年は終始、中華問題のために闘つて暮れた。

悲しみの世界に成長し、勞働生活十年、僕は全社會惡と戦つた。その戦資を得るために株式界も米商界も征服した。個人の心は判らぬが、世界の心はよく判る自分である。經濟の神祕も僕でなければわからぬ。しかし今やそれもこれも總て返らぬ過去である。僕は新東洋に戀して生涯を終るのだ。日本と中華のために笑つて死ぬのだ。しかも軽く、冷靜に。

黃億朝の名で上海で働いてより、十數年來の僕の好きな民國である。中華には、頭がよくて、ハンニと親しい日本の武官が南北に多いと同時に、わが新東洋主義のために、命を惜しまぬ同志の民國武將も二三ある。將來の



民國は彼等の手に在ると僕は信じてゐる。

また天津日本居留民團の小栗理事や、北京の持原武彦、今村俊廉の兩君等も勝れたる我が友である。僕はいゝ日本人が、どんくゝ民國へ行つて欲しいと思ふ。

日本で食ふ中華料理は皆まづいが、天津は美味くて嬉しい。そして僕の好きな刺身も食へるのだから。

支那服は着心地がいゝ。民國の芝居は、日本のやうにコセくゝしてゐない。ハンニの民國のオトギバナシの生活は楽しかった。毎日化物退治で生命がけても平氣だつた。ハンニの眞の危険は意外の場所にあるのだがこゝに書けぬ。

今年も僕は主として中華で暮す。餘生短くとも、一日でもよい、自己の眞

實の生命を民國で發見したい。もう一度櫻の日本を見たら、死ぬまで天津あたりに住むつもり。さらば日本よ。

ツラヌキたいハンニの目的——悲しみの敵——人體及國家改革——東洋の飛躍。

討たねばならぬハンニの敵、そして東洋の敵——共產黨——西洋資本——ユダヤ資本。

一億日本人は生活苦に泣いてゐる。四億民國人も泣いてゐる。三億印度人も泣いてゐる。僕個人も、東洋八億人も、生きて居る間に、もつと幸福が欲しいと思ふ。死後は次の問題である。生きて居る八億の涙、僕は新東洋主義でこの涙を拭きたいのである。人として、如何なる人を戀すべきか。人として如何なる命を生くべきか、



この二つは永遠の謎であるか。

戀愛と生活の解決のために、神もまた惱んだ。人として、生れ乍らに、戀愛の相手を神に明示されてゐたら、その人の青春はどんなに無意味であらう。同じく神が早くから、人間に一生の行く手を明示したら、その人は生存の興味を失ふ。然も現世の如く、總ゆる人が、戀すべき相手を同胞に見し得ず、如何に生く可きかに昏迷してゐては、悲惨！全部氷の途上で死に果てる。遂に幸福はない事になる。神の弱點とも云ふ可きか。東洋八億の悲しみは、蔽ふべくもない〇〇〇〇の露見である。避く可からざる世界の悲劇である。ハンニは新東洋主義の名に於て、死を以てすゝむ！實行だ、理論もすてやう。

然も、ハンニの日本國民主義が大いなる幾多の實行を伴へるが如く、わが

新東洋主義の現實性は強烈である。新東洋主義の前に、ロシヤは必ず遂に戰意を失ひ、共産黨は全然その擴大性を解消し、民國の形勢は近く全く一變する。陰鬱なる東洋の運命を撃破するもの……この世の何物に代へても僕は此の役割を放棄すまい。

新東洋主義の理論と實行、熱海トンネルを東西から掘り進むやうに、ハンニの理論と實行は、兩方から遠からずピタリと合ふ日が来るのだ。

ハンニの新東洋主義は斯くて、東洋の運命を完全に幸福に導く！そして西洋に反省を促す日よ！僕の死ぬ日。東洋の黄金時代の第一日！

歐洲よ米國よ、文明の過去よ。シベリヤよレニン苦よ、思想の過失よ。汝を後に、神よ、わが愛する東洋は行く。

(昭和九年一月十五日東朝、大朝掲載)



天涯から吹き下ろす無邊の風を身に浴びながら、東洋  
の新たなる地上を望み見ようとする永遠の青年ハニニ







若いオシカヤン

ハニ

昭和九年四月十五日印刷  
昭和九年五月四日發行

定價二十錢

不許  
複製

著作  
發行者

東京市麹町區帝國ホテル第三一號室  
伊東 阪三  
松尾 正 直

印刷者 岡 功

東京市本所區厩橋一ノ廿七

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場

東京市麹町區帝國ホテル第三一號室

發行所 新 東 洋 社



地球の心臓に新東洋主義  
の旗が勝利を以て翻る日

と  
と

5  
8